

農林水産委員会 県内所管事務調査の概要

【令和3年7月29日（木）】

◆調査箇所：株式会社大和ファーム（杵築市大田）

＜概要＞

株式会社大和ファームでは、100頭を超える黒毛和牛の繁殖経営を行っており、その大規模経営に対応するため、繁殖管理クラウドシステムや哺乳ロボット、監視カメラ等の導入により作業の省力化を図るとともに、就農希望者等の実習生を積極的に受け入れ、担い手確保、育成に貢献している。

今回の視察では、経営規模や先端技術を活用した繁殖牛の飼養管理方法等について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・遠隔管理のメリットについて
- ・事業補助について
- ・牛の販売価格について

◆調査箇所：北部振興局、農林水産研究指導センター農業研究部水田農業グループ、水産研究部北部水産グループ、宇佐家畜保健衛生所

＜概要＞

北部振興局（管轄：中津市、豊後高田市、宇佐市）、農林水産研究指導センター農業研究部水田農業グループ、水産研究部北部水産グループ及び宇佐家畜保健衛生所における組織及び管内の概要や、ねぎ産出額100億円プロジェクトの推進、園芸戦略品目の産地づくり、アサリの資源回復と養殖、ヒジキ養殖技術の開発、家畜伝染病予防対策の取組等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・ねぎ産地の経営継承について
- ・ベリーの生産における課題等について
- ・本県における種子法廃止後の法整備等の状況について

◆調査箇所：株式会社石和田産業（宇佐市安心院町）

＜概要＞

株式会社石和田産業は、宇佐市内の酒類製造会社である三和酒類株式会社の出資により設立された法人であり、法人設立後、国営事業の活用等により荒廃農地を含む農地の取得・整備を行い、当該農地において醸造用のぶどうを栽培している。収穫されたぶどうは、すべて三和酒類株式会社に出荷され、安心院ワインとして醸造されている。

今回の視察では、栽培品種や栽培規模、土壌改良の状況等について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・造成費用について
- ・ビニールカバーの効果について
- ・栽培期間について

【令和3年7月30日（金）】

◆調査箇所：大分県農業協同組合西部事業部 リース方式なし園（日田市日高）

＜概要＞

大分県農業協同組合西部事業部では、平成29年7月の九州北部豪雨を契機として日田梨創造的復興プロジェクトを立ち上げ、リース方式による初期負担の軽減などの三つの基本的な考え方のもと、担い手確保対策やミニ団地設置構想の推進等を検討し、西の山、入江、高尾原の計3地区をモデル団地として、日田梨リース団地を整備している。

今回の視察では、モデル地区の事業概要や担い手の参入状況等について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・日田梨の反収について
- ・リース農園の農家負担について
- ・園地の相場について

◆調査箇所：大分大山町農業協同組合 木の花ガルテン大山本店（日田市大山町）

＜概要＞

大分大山町農業協同組合では、豊かな活力ある農村づくりや消費者に評価される商品の開発などに取り組んでおり、令和3年3月には高齢者が軽労働で快適な農作業に従事しながら、休憩談話室で余暇を楽しむことができる地域集落文産農場をつくり、木の花ガルテン等で販売される野菜生産と地域コミュニティの活性化を両立する取組を行っている。

今回の視察では、大分大山町農協の取組全般について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・他の農協との連携について
- ・大山町農家との関わりについて
- ・大山町管内の農業経営者における後継者の確保について

◆調査箇所：有限会社ファゼンダ・グランデ（玖珠町日出生）

＜概要＞

有限会社ファゼンダ・グランデでは、肉用子牛の生産地帯である玖珠郡をはじめとして、県内からの子牛導入を主とし、これまで各枝肉共励会で優秀な成績を収めるなど、「おおいた和牛」のブランド確立に大きく貢献している。

今回の視察では、飼養頭数や出荷状況等について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・子牛の購入について
- ・肥育牛の評価について
- ・雇用について

【令和3年8月3日（火）】

◆調査箇所：豊肥振興局、農林水産研究指導センター農業研究部、畜産研究部、農業大学校、林業研究部きのこグループ、豊後大野家畜保健衛生所、県央飛行場

＜概要＞

豊肥振興局（管轄：竹田市、豊後大野市）、農林水産研究指導センター農業研究部、畜産研究部、林業研究部きのこグループ、農業大学校、豊後大野家畜保健衛生所、県央飛行場における組織及び管内の概要や、担い手の確保・育成、乾しいたけの生産振興、畜産・園芸振興による産出額拡大、IoT等の新技術を活用した有害・有毒プランクトン対策、ドローンを活用した生育診断技術の確立、農業大学校での教育・研修の状況等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・新規就農者の傾向について
- ・鳥獣被害対策について
- ・GAPの取組について

◆調査箇所：大分県農業協同組合豊肥事業部 キャトルステーション（竹田市久住町）

＜概要＞

大分県農業協同組合豊肥事業部では、農家の飼養管理の省力化や畜舎スペースの確保、子牛の繁殖等を目的としてキャトルステーション（子牛共同育成管理施設）を設置し、生後3か月から5か月未満の子牛を預かり、約半年の間、農家に代わり子牛の育成を行っている。

今回の視察では、収容頭数や子牛の委託条件等について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・市内の飼養頭数について
- ・他の地域におけるキャトルステーションの新設について
- ・久住高原農業高校との連携について

◆調査箇所：大分県農業協同組合 菅生広域野菜集出荷場（竹田市菅生）

＜概要＞

大分県農業協同組合では、キャベツ・ニンジン取扱量の増加を目的として、令和3年3月に集出荷場を整備し、キャベツの安定出荷に向けた長期保存が可能な大型低温庫や、高性能なニンジン選果機の導入により産地の拡大を目指している。

今回の視察では、設備費用や整備内容、加工用キャベツの出荷、ニンジン選果の作業行程等について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・設備費用について
- ・雇用人数について
- ・キャベツの保管数量について

【令和3年8月4日（水）】

◆調査箇所：佐伯市シングルシード養殖協議会（佐伯市大入島）

＜概要＞

佐伯市シングルシード養殖協議会では、平成30年に高品質なカキの養殖方法であるシングルシード方式に着手し、令和元年からは国内で初となるフリップファームシステムを導入し、「大入島オイスター」のブランド化による地域活性化に取り組んでいる。

今回の視察では、作業内容や生産量、出荷ルート等について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・シングルシード養殖を始めた経緯について
- ・カキの出荷時期について
- ・温暖化による海水温上昇の影響について

◆調査箇所：南部振興局、農林水産研究指導センター水産研究部

＜概要＞

南部振興局（管轄：佐伯市）及び農林水産研究指導センター水産研究部における組織及び管内の概要や、コロナ禍の影響と再活性化、水田畑地化を絡めた園芸団地づくり計画の実行、「うまみだけ」出荷者の確保、養殖業の振興、かぼす養殖魚の生産技術開発の取組等についてそれぞれ説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・農業への参入企業の状況について
- ・資源管理の充実による効果について
- ・枝豆の品種選定について

◆調査箇所：大分県農業協同組合（大分市花園）

＜概要＞

大分県農業協同組合では、組合員の要望に応えられる営農、販売、経済事業や、女性部等を中心とした地域活性化などの取組による、地域で安心して暮らせる生活事業等を行っている。

今回の視察では、新改革プランや経営改善計画、大分県農業総合戦略会議における取組等について説明を受けた。



＜主な質疑等＞

- ・農業指導員数の本県と九州他県との状況について
- ・篤農家・営農指導員の指導体制、TACの役割について
- ・女性営農指導員数について